



9月5日 芳賀中学校体育祭（岡野義美氏撮影）

No.157

2015年11月1日発行

議会だより

はが

9月議会定例会

9月定例会概要	2～6
一般質問	7～9
常任委員会行政視察	10
聲〈こえ〉私のいたいこと	11
議会日誌・編集室	12

条例改正、一般会計補正予算など議案を可決

9月定例会の概要

平成27年第5回芳賀町議会定例会は9月2日から16日までの15日間、次の日程で開かれました

期日	会議名	内容
9月2日	本会議	提案理由の説明、決算審査報告、同意案件採決、発議案件の趣旨説明、質疑・討論・採決
9月4日	本会議	一般質問
9月7日	本会議	報告案件の質疑、決算認定を除く案件についての質疑・討論・採決
9月8日	本会議 常任委員会	各会計の決算認定の質疑、所管の常任委員会へ決算認定の審査の付託 教育民生常任委員会書類審査
9月9日	常任委員会	教育民生常任委員会書類審査
9月11日	常任委員会	総務常任委員会書類審査・産業建設常任委員会書類審査
9月14日	常任委員会	各常任委員会現地調査
9月16日	本会議	決算認定案件についての常任委員長審査結果報告、委員長に対する質疑、討論・採決 教育民生常任委員会継続審査の中間報告 追加議案の提案理由の説明、質疑・討論・採決

報告

□専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解)

内容 かしの森公園出入口において、駐車場から歩道部分を横断し車道に出ようとした車両の前輪が、歩道の穴に落ちたことによりフロントバンパー下面が破損した。損害賠償額は21万404円で、全国町村会総合賠償補償保険で対応。
(質疑なし)

□公益財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明書の提出について

内容 地方自治法第23条の3第2項の規定により、両法人の経営状況について、同法施行令第173条第1項に規定する両法人の経営状況を説明するため、平成26年度の事業実績及び決算を報告するもの。

質疑

水沼孝夫議員、北條 勲議員
岩村治雄議員、石川 保議員

□平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率について

内容 地方公共団体の財政の

健全化に関する法律に基づき、監査委員の意見を付して報告するもの(監査委員の意見は4ページに掲載)。
(質疑なし)

条例改正

□芳賀町情報公開及び個人情報保護に関する条例の一部改正について

内容 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、規定の整備を図るため条例の一部を改正するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町手数料条例の一部改正について

内容 「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の施行に伴い、通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を新たに加える。また「住民基本台帳法第30条の44」で規定する住民基本台帳カードの新たな発行が廃止となるため、住民基本台帳カードの交付手数料を廃止するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

□芳賀町道路路線の認定について

内容 主要地方道真岡・那須烏山線の上稲毛田・給部地内の旧道が町に移管されることに伴い、認定するもの。

質疑 北條 勲議員
(討論なし、原案可決)



▲町道 大橋・堂ノ前線 (給部地内)

□工事請負契約の締結について
(平成27年度芳賀工業団地排水処理センター電気設備修繕工事)

内容 芳賀工業団地排水処理センターの電気設備の受変電設備及び計装設備において修繕工事が必要となったことから、平成27年8月20日、事後審査型条件付き一般競争入札に付し、請負契約を締結するため、地方自

治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を求めるもの。

○契約金額 5,670万円

○契約の相手方

埼玉県さいたま市大宮区宮町1丁目114番1号
東芝電機サービス株式会社
北関東支店 支店長 草場亮伸

質疑 北條 勲議員

(討論なし、原案可決)

補正予算

□平成27年度芳賀町一般会計補正予算(第4号)

内容 総額に8,387万7千円を追加し、予算総額を79億5,388万1千円とするもの。

質疑

岡田年弘議員、水沼孝夫議員、北條 勲議員、岩村治雄議員、大島 浩議員、小林一男議員、杉田貞一郎議員
(討論なし、原案可決)

□平成27年度芳賀町一般会計補正予算(第5号)

内容 総額に3,839万4千円を追加し、予算総額を79億9,227万5千円とするもの。

(質疑・討論なし、原案可決)

■一般会計の主な補正予算項目(芳賀町一般会計補正予算第4号)

歳入

項目	補正額	
使用料及び手数料	9千円	
国庫支出金	事業費精査によるがん検診推進事業	△125万7千円
	個人番号カード交付事務 理科教育設備整備に係る補助金	95万7千円
繰入金	介護保険特別会計からの繰入金	625万3千円
繰越金	前年度繰越金	7,791万5千円

歳出

項目	補正額	
総務費	臨時職員賃金	258万7千円
	町有財産の固定資産台帳整備費用	788万4千円
	役場庁舎の空調設備更新に係る設計費用等	657万円
	わがまち協働推進事業補助金	12万3千円
	行政ネットワークライセンス購入費用	15万4千円
	業務システム更新・改修費用等	3,078万2千円
民生費	高齢者世帯の緊急通報装置台数追加費用	36万3千円
	事業費精査による子ども・子育て支援事業費及び放課後児童健全育成事業費償還金	41万8千円
衛生費	健康づくり推進協議会委員報酬	8万6千円
農林水産業費	農業振興地域整備計画書作成費用	216万円
	町農産物ブランド化推進費用	326万円
	有害鳥獣駆除に係る費用	14万2千円
	唐桶の溜外周道路整備費用等	91万円
土木費	都市計画マスタープラン策定委員謝礼	4万2千円
	芳賀高跡地整備に係る配水管設計費用等	272万4千円
教育費	LRT運行を担う新会社への出資金	1,530万円
	芳賀南小学校昇降口扉修繕費用	105万9千円
	芳賀中学校武道場の耐震改修設計費用	333万8千円
	生徒の大会参加に係るバス借上料	99万6千円
	水橋分館修繕及び電化製品購入費用	27万4千円
	生涯学習センター空調機修繕費用	22万7千円
	町民会館非常用発電機修繕費用	49万7千円
町PRのための絵本制作費	250万円	

□平成27年度芳賀町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

内容 総額に2,761万6千円を追加し、予算総額を22億1,361万6千円とするもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

□平成27年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第1号)

内容 保険事業勘定の総額に1,957万5千円を追加し、予算総額を12億7,757万5千円とするもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

損害賠償額の決定及び和解

□損害賠償請求事件の損害賠償額を定め和解することについて

内容 町職員の運転による公用車の事故が発生し、真岡簡易

裁判所において係争中の損害賠償請求事件について和解をするため地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定により議会の議決を求めるもの。

▽損害賠償額 95万5,416円
(質疑・討論なし、原案可決)

規約変更

□**栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更について**

内容 平成27年10月1日から大田原地区広域消防組合と黒磯那須消防組合を廃し、新たに那須地区消防組合が設立されることに伴い、栃木県市町村総合事務組合の規約を変更するため、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

任命同意・選任同意

□**芳賀町教育委員会委員の任命について**

平成27年9月30日付けをもって任期満了となる小林久子氏(東水沼)を引き続き最適任者として芳賀町教育委員会委員に任命することに同意しました。



▲小林久子氏

□**人権擁護委員の候補者の推薦について**

平成27年12月31日付けをもって任期満了となる増渕佳子氏(東水沼)を引き続き最適任者として法務大臣に推薦することに同意しました。

また、若林勝治氏の後任として、永島聰氏(芳志戸)を最適任者として法務大臣に推薦することに同意しました。



▲増渕佳子氏



▲永島聰氏

議員発議

□**芳賀町議会会議規則の一部改正について**

内容 議会における欠席の届出の取り扱いに関し、社会情勢を勘案し、出産の場合の届出について新たに規定するもの。
(質疑・討論なし、原案可決)

平成26年度 一般会計・特別会計決算

決算審査 監査委員意見 (一部)

効率的で堅実な
財政運営を



小林 俊夫
監査委員



槌谷 力
代表監査委員

本町の財政は、比較的健全に運営されており、第5次芳賀町振興計画後期計画の4年度目として、重点施策の着実な実行を図りながら、各種事務・事業等歳出についても、計数的な過誤もなく概ね誠実に執行されていきました。

平成26年度単年度財政力指数は1.050、健全化判断比率において、実質公債費比率は5.7%、その他の判断比率・資金不足比率は該当なし。なお、自主財源比率は70.1%でした。

町税は、景気が回復傾向にあるため、法人の固定資産税の伸び等で、昨年度より6.0%増の約47億8,321万円が収納されましたが、景気の動向は不透明であり、少子高齢化による人口減少社会の進展により、今後ますます財源確保が厳しい状況が予想されるので、今後とも効率的で堅実な財政運営をお願いします。

借金である本町の地方債の残高は、年々計画的な減少が見られます。

平成26年度に引き続き平成27年度も不交付団体にはありませんでしたが、決して財政的に余裕が生まれることではないことを認識し、経済的で効率的かつ効果的な事業の執行をお願いします。

会計名	決算額			
	歳入	歳出	実質収支	
一般会計	88億7,986万9千円	82億6,635万4千円	6億1,351万5千円	
国民健康保険特別会計	21億4,310万3千円	19億5,205万2千円	1億9,105万1千円	
農業集落排水事業特別会計	1億8,109万3千円	1億7,424万9千円	684万4千円	
芳賀工業団地排水処理センター特別会計	9,970万1千円	9,438万7千円	531万4千円	
介護保険 特別会計	保険事業勘定	12億7,926万8千円	12億3,628万3千円	4,298万5千円
	サービス事業勘定	953万9千円	675万3千円	278万6千円
公共下水道事業特別会計	2億8,763万8千円	2億8,212万9千円	550万9千円	
祖母井南部土地区画整理事業特別会計	1億1,400万2千円	1億968万3千円	431万9千円	
宅地造成事業特別会計	8万8千円	1万円	7万8千円	
後期高齢者医療特別会計	1億4,467万8千円	1億3,990万7千円	477万1千円	
計	131億3,897万9千円	122億6,180万7千円	8億7,717万2千円	

平成26年度

一般会計決算の 主な質疑



石川 保議員

問 企画課職員の時間外手当が年々増えている要因は。

答 企画課長 芳賀チャンネルの取材が土・日や時間外に多くなっている。また、新たな計画の策定や総合戦略等に関する事務が増えたことによる。

問 芳賀チャンネルの番組を職員中心に作成するのか、業者に委託するのか今後の方向性は。

答 副町長 基本的な職員の係わり方も含め、今後の方向性について再度検討していきたい。

問 廃棄物監視員と不法投棄監視員が統合された理由は。

答 住民生活部長 廃棄物監視員と不法投棄監視員の業務内容がほぼ同じであったため、2つを統合し廃棄物監視員とした。



水沼孝夫議員

問 失業者・求職者対策として、茂木町のように役場庁舎内にハローワークの出張所を設ける考えは。

答 商工観光課長 今回のところは考えていない。現在はハローワーク真岡とハローワーク宇都宮の情報をいただき、毎週町ホームページに掲載している。

問 学童保育なかよしクラブは狭いということ、議会やまちづくり委員会から設備の改善や移転等の意見が出ているが、現在の状況は。

答 こども育成課長 児童福祉施設における1人あたりの



▲なかよしクラブ

面積は確保されている。場所については、保護者を対象としたアンケートを実施したところ、現在の場所で良いという結果だった。今後、保健センター等を新しく建設した際に、跡地を活用できればという思いはある。



小林隆志議員

問 まちづくり委員の位置づけについて。

答 企画課長 第6次芳賀町振興計画の町民の役割について、まちづくり委員の意見を伺い、最終的に審議会の答申に反映したいと考えている。

問 バスターミナルには70台以上の駐車スペースがあるが、利用率は1割程度にとどまっている。駐車スペースの利用促進が望まれる。今後整備されるLRTのトランジットセンターと併用できればコストの削減につながったと思うが。

答 建設産業部長 バスターミナルの建設は平成26年度だが、平成25年度からJRバスと協議し進めてきた。その後、L

R Tの芳賀工業団地までの延伸の要望があり、事業を推進したという経緯がある。今後はバスターミナルを有効活用する方向で、トランジットセンターの配置を考えていきたい。



▲バスターミナル



小林一男議員

問 BCGの接種率が平成24年度の99%から26年度は91.4%に下がった理由は。

答 健康福祉課長 予防接種法の改正により、該当年齢が生後90ヶ月から1歳までに改正されたのが原因。町としても働

奨はしていたが、未接種者を把握しきれなかった。



北條 勲議員

問 光の道ネットワーク加入率は約52%となっている。今後、加入を促進していくのか。

答 企画課長 今後も宇都宮ケーブルテレビとタイアップして加入促進をしていく。加入にあたっては初期費用がかかるので、年間の加入世帯は約150戸となっている。芳賀チャンネルについては、かなり見ていただけるようになってきている。町の情報を伝えるのには非常に有効な手段だと考えている。



杉田真一郎議員

問 どのような考えで職員の育成をしていくのか。

答 町長 まずは私のほうで職員の仕事の仕方を示した。事務服装については、多岐にわたる行政の事務を処理していかねばならない。研修等は担当の部長と相談しながら進めていく。

常任委員会決算審査

平成26年度芳賀町一般会計及び特別会計の決算審査が9月8日の本会議で、総務・教育民生・産業建設常任委員会に付託されました。

各常任委員会は、9月8日から14日まで、所管する課・局の書類審査と現地調査を行い、9月16日の本会議で、委員会の意見を付けて決算を認定しました。

総務常任委員会

□書類審査対象課（9月11日）

総務課、企画課、税務課、会計課、議会議務局、監査委員事務局

□現地調査（9月14日）

芳賀地区広域行政事務組合消防本部
芳賀バスターミナル、防災行政無線

□審査の意見又は特に留意すべき事項

①気候変動が極端化する今日、当町でも水害の危険が増していることから、既設の監視カメラを点検し、河川の状況を把握するとともに増設も検討する必要があると思われる。それらの情報については芳賀チャンネルやホームページで町民と共有、更に防災無線を活用し提供することで防災力の向上に努められたい。

②町税の収納率は高いレベルにあるが、高額滞納者には、生活困窮に至らしめない判断される動産・不動産に対し「差し押さえ」と「公売」を積極的に実施し、更なる公平性を確保されたい。



▲審査の様子



▲現地調査（バスターミナル）

教育民生常任委員会

□書類審査対象課（9月8日、9日）

住民課、健康福祉課、高齢者支援課、環境対策課、こども育成課、生涯学習課

□現地調査（9月14日）

芳賀南小学校、芳賀中学校、ひばりが丘野球場、グループホームふれんど芳賀

□審査の意見又は特に留意すべき事項

①住民生活部健康福祉課の分掌事務となっている社会体育係については、芳賀町部課設置条例によれば、「社会体育に関すること」と規定されており、健康福祉課の事務にはなじまないと考察されるので、機構改革等を実施して対応されたい。

②住民サービスを充実させるためには、専門知識を要する人材の確保が喫緊の課題となっていることから、人材育成と適正配置を考慮し、さらなる住民満足度の向上を図られたい。



▲審査の様子



▲現地調査（芳賀中体育館）

産業建設常任委員会

□書類審査対象課（9月11日）

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

□現地調査（9月14日）

芳賀高跡地、真岡信用組合・町体育館周辺、下高根沢地内ハウス雪害復旧、大塚・鷺の谷線、大塚地内遊休農地、ロマンの湯

□審査の意見又は特に留意すべき事項

①LRT事業は芳賀町にとって地方創生の核になる大変重要な事業である。町民に理解していただけるよう、町づくりの将来像と人口減少問題に資するLRT事業の位置づけを明確化し、丁寧な説明が必要である。

②公共下水道事業の整備率がまだまだ低い状況にある。県食肉センター等の整備問題もあり、全体計画の早期整備が図れるよう検討されたい。

③道路や橋梁の加速度的な老朽化が課題であるが、効率的な維持管理を実施するうえでも現業部門の充実を図られたい。



▲審査の様子



▲現地調査（雪害復旧）



大根田周平 議員
(西高橋)

本年度策定の第6次芳賀町振興計画について

町長「人口については定住促進事業・住宅地分譲等を考慮し、目標値を設定します」

問 振興計画の基本となる人口と土地利用について伺う。

答 町長 自然増減を国立社会保障・人口問題研究所の推計値を基本に、町が行う定住促進事業、新たな住宅地分譲等を考慮し平成39年の目標値を設定していきたい。土地利用については都市計画マスタープランとの整合を図りながら、市街化区域や市街化調整区域の土地利用を定めていきたい。

問 LRTの延伸や商店街の活性化等を考慮し、祖母井の住居地域を現在の約60ヘクタールから近隣地域等も含め、町全体で100ヘクタールに拡充しては。また、住居地域内農地の宅

地化を推進しては。

答 町長 住居地域内農地の宅地化の推進については、町都市計画マスタープランに基づき南部地区から順次事業推進を図っている。早期に宅地化を図るため、南部地区で実施した先行買収や宅地造成事業なども取り組む必要があるが、宇都宮都市計画区域マスタープランとの整合を図る必要がある。現時点では大規模な市街化区域の拡大は難しい状況。今後は、中部地区や北部地区の都市基盤を整備し、未利用地や農地などを有効活用することを主眼に本年度見直しを進めている都市計画マスタープランに位置づけたい。

地化を推進しては。町都市計画マスタープランに基づき南部地区から順次事業推進を図っている。早期に宅地化を図るため、南部地区で実施した先行買収や宅地造成事業なども取り組む必要があるが、宇都宮都市計画区域マスタープランとの整合を図る必要がある。現時点では大規模な市街化区域の拡大は難しい状況。今後は、中部地区や北部地区の都市基盤を整備し、未利用地や農地などを有効活用することを主眼に本年度見直しを進めている都市計画マスタープランに位置づけたい。

問 町の中心市街地である祖母井の魅力ある街づくりのため、特に神社・仏閣付近は電線の地中化、歩道や道路は石畳、水路も両岸石積み構造として、魚が泳げる風情ある空間を創出しては。

答 町長 県道の整備と沿道の街並みを一体的に整備するため、北部地区と神社南地区で土地区画整理事業の検討を進めている。しかし、電線の地中化や歩道、道路の石畳整備、水路の石積み構造は、事業費が増大する傾向にある。今後、必要性や整備水準、事業費も含め真岡土木事務所や地域の皆様など意見交換しながら案をまとめていきたい。

問 町の中心市街地である祖母井の魅力ある街づくりのため、特に神社・仏閣付近は電線の地中化、歩道や道路は石畳、水路も両岸石積み構造として、魚が泳げる風情ある空間を創出しては。



▲現在の祖母井の街並み

五行川遊水地の整備について

町長「平成32年度までに整備する計画です」

問 五行川遊水地の全体構想と進捗状況は。

答 町長 栃木県が事業主体となり、約19ヘクタールの洪水調整施設を整備する計画。現在は左岸の排水管や掘削工事が進んでおり、平成29年度に完成見込み。右岸は平成30年度から3年間で整備する計画。本工事完了後は、外周を桜堤回廊とし、遊水地内は、四季折々の花が咲くフラワーパークや子ども遊び場などを検討している。

問 平成16年3月に農政課で遊水地調査報告書が作成されている。私はこの報告書のほうが計画目的、基本方針、理念などが明確で優れていると思う。町民の皆さんに構想図を示して、夢のある遊水地を整備してはどうか。

答 町長 当時、立派な計画書を策定した経緯もある。使える部分は使い、真岡土木事務所の意向を聞きながら考えていきたい。



▲電線を地中化した上三川町の街並み



▲平成16年に計画された遊水地のイメージ

子どもの貧困問題に対する町の取り組みについて

町長 「関係者の制度の理解と相談支援に

能力向上を図ります」

問 厚生労働省が発表した子どもの貧困率は過去最悪の16.3%に上り、6人に1人の約325万人の子どもの貧困化している。芳賀町においても、低所得によって生活苦に陥る家庭が増えつつある。本町の実態と対策について考えを伺う。

答 町長 本町の実態は、要保児童生徒は47人、児童扶養手当受給者は119人。生活保護受給率は県平均1.04%に比べ、町は0.68%で低い状況にある。貧困問題の解決策は、保護者の収入増を図ることが一番だが、非常に困難である。子育て支援の周知、

問 町内で貧困の発生を捕捉するシステムが機能しているか、子どもの見守りを考える必要がある。また十分な現金給付や現物給付があれば、貧困は起らないと考える。公的教育支出の対GDP比で、デンマークは7.5%、日本は3.6%しか使っておらず、加盟国中最低である。OECD平均は5.4%で、円換算

学校での案内や相談は、より身近で効果的であるが、人材的、財政的に簡単ではない。まずは、学校をはじめ、福祉相談窓口で、関係者の制度の理解と相談支援の能力向上を図りたい。

問 町内で貧困の発生を捕捉するシステムが機能しているか、子どもの見守りを考える必要がある。また十分な現金給付や現物給付があれば、貧困は起らないと考える。公的教育支出の対GDP比で、デンマークは7.5%、日本は3.6%しか使っておらず、加盟国中最低である。OECD平均は5.4%で、円換算

した場合に8.5兆円もの開きがある。先進各国が子どもの貧困率を低く抑えているのは、現金給付や現物給付が日本に比べ、潤沢なためである。少子化対策と言いつつ、子育て世代や若者、子どもに対する投資が極端に少ないが町長の考えを伺う。

答 町長 考え方は議員と全く同じである。町長として町村会等で働きかけていきたいと考える。町としてはきめ細く、取りこぼしのない対応をしたい。

問 LRTの採算性と活用について

LRTの採算性と活用について

町長 「多くの整備効果が期待できる事業

速やかに着工できるように全力で取り組みます」

問 座談会等を通じて説明をされているが、事業概要や採算性ばかりで町にとつてLRTの必要性や将来にどう役立っているのか、根本的な説明がなされていない。宇都宮市はPR用のビデオを作成したり、わかりやすい説明を実施している。今後、芳賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略に、具体的にLRT事業のメリットと活用法を盛り込んで行く必要があると思う

答 町長 優先整備区間において、企業や従業員アンケートにより需要予測を行い、安定的な運営ができるものと判断した。LRTの導入に合わせ、バス路線の再編やデマンド交通の充実、自動車・自転車からの乗り継ぎ拠点の整備など、一体的に取り組んで行く。これらの方

道の駅はがの業績と今後の運営について

町長 「集客と収益性の確保に努めます」

問 6月議会で本年度の予算見積りの甘さを指摘させていだいた。道の駅が今後慢性的な赤字に陥らないよう、収支計画と事業計画の整合性及び実現性について考えを伺う。

答 町長 運営経費の収支予算の配分については、限られた経費を効果的に集中的に執行する予定で計画した。道の駅は

が、地域住民の公益性を確保しつつ、2つの源泉を持つ温泉のある駅の強みを生かして、集客を高め、収益性を確保できるよう努力していく。



策を計画的に実施することで、現在の需要予測を上回る利用者が見込める。また、町内経済の波及効果や地価下落抑制、立地企業や事業者数の増加など、多くの整備効果が期待できる。

議員指摘のとおり高齢化の進展する中、LRTは多くのメリットがある。国や県に財政・技術支援を要請し、宇都宮市と速やかに事業着工ができるように全力で取り組んでいく。

水沼 孝夫 議員 (下延生)





小林 隆志 議員
(東高橋)

住民にとっての「PRIDE」

町長「住民の利便性の向上に向けて、

公共交通の再編・強化策を検討します」

問 多額の財源を投入して実施される事業。多くの住民に利用してもらおうための方策について伺う。

答 町長 交通結節点の整備による既存交通手段との乗り継ぎの向上や、路線バスの再編、循環バスの新設、デマンド交通の充実など、通勤・通学者・高齢者・交通弱者の皆様も利用しやすい、利便性の高いシステムを構築できるよう、交通事業者とも協議しながら検討していきます。沿線地域以外の利用促進を図るためには、利用料金の割引者・高齢者・子どもなどの割引

以外にも、さまざまな割引制度がある。先進事例を参考に、町独自の割引制度の導入を検討していく。

切符の購入等、JR系や私鉄系のカードと相互利用ができるICカードの導入により、バスやデマンド交通などと調整を図り、商業施設や商店街などのポイントカードとの連携ができるよう検討していきます。



町奨学金制度の貸与基準を見直すべきでは

教育長「緩和の方向で、教育委員会でも検討します」

問 子どもの貧困対策について、今後の取り組みと奨学金制度の充実を図る考えについて伺う。

答 教育長 要保護・準要保護の児童・生徒に対し、就学援助費を交付し、経済的理由により就学できない方に奨学金を貸与している。また、今年度施行の生活困窮者自立支援法に

基づく学習支援事業については、実施主体の県の事業を町で受け入れ実施している。支援の対象者は、小学4年から中学3年までの要保護・準要保護児童生徒で、小学生は対象17人のうち4人から申し込みがあり、「学びの教室」を実施しているが、中学生からは申し込みがなかった。今後は支援を受けやすい方

法を調査し対応していきたい。

問 家庭の所得格差が、学力という個人の資質に対しても相当の影響を与えているのではないかと。町奨学金制度の貸与基準を見直すべきでないか。

答 こども育成課長 成績要件を緩和する方向で、教育委員会でも検討していきたい。

安心安全な町づくりの推進について

町長「関係機関と協議の上、安全対策を進めていきます」

問 安心安全な町づくりに向けて、芳賀型交通事故対策、道路の安全を確保するための民有林の伐採、歩行者通行帯のカラー舗装等の対応について伺う。

答 町長 芳賀町内の交通事故の特徴である「交差点・出会い頭・高齢者」のキーワードを意識して、安全対策を推進していく必要があると考える。ソフト面・ハード面の対応について、関係機関と協力をしながら、対策を進めていく。樹木の伐採

については、冬場に日陰となる急な坂道やカーブで交通量の多い道路は、スリップ事故防止策として、町の負担による伐採も考えているが、基本的には所有者に依頼し、高齢化や不在地主で困難なところは、地域協力による協働の形で行っていききたい。歩道設置等については、計画に沿って実施しているが、完成までには長期間かかってしまうのは事実。歩行者通行帯が必ずとされた場合は、関係機関と

協議の上、カラー舗装等も考慮して対応していきたい。



▲東高橋地内の交差点

行政視察

群馬県中之条町議会総務企画常任委員会来町

10月21日、群馬県中之条町議会総務企画常任委員会、中之条町長、事務局の10人が廃校活用についての視察のため、生涯学習センターに来館しました。



▲視察の様子

「今後の廃校活用への参考にしたい」との感想が聞かれました。

中之条町議会からは、生涯学習センター整備計画・現在の利用状況について説明しました。

芳賀町では、総務常任委員会の小林一男委員長、岡田副委員長が出席し、古谷総務企画部長が芳賀町小学校統合に関する経過概要、増進生涯学習課長が生涯学習センター整備計画



▲中之条町の皆さんと小林委員長・岡田副委員長

総務常任委員会

埼玉県三芳町を視察

10月26日、総務常任委員会と企画課広報係が埼玉県三芳町を訪問し、本年度全国広報コン



▲総務常任委員会と三芳町副議長・広報担当者



▲視察の様子

クールで日本一である内閣総理大臣賞を受賞した「広報みよし」の編集方法や特集テーマ、取材の取り組みについて視察調査しました。三芳町は平成23年3月に広報担当者を職員から公募し、住民の皆さんに愛され、読む価値・見る価値のある広報紙づくりを始めました。近年では紙のほかにWEBやSNS、AR（拡張現実）や電子書籍なども広報に活用しています。視察した委員からは「広報紙のさらなる充実について大変参考になった」との声が聞かれました。

教育民生常任委員会

那須町、福島県南会津町を視察

9月29日、教育民生常任委員会が那須町、福島県南会津町を訪問し、保健センターを視察しました。両町の保健センターは、ともに複合施設となっており、那須町のゆめプラザ・那須は、子育て支援センター、地域包括支援センター、社会福祉協議会などの機能を併せ持ち、町民の健康づくりの拠点となっています。また、南会津町の御蔵入

交流館は、町民ホールや図書館の文化施設を併設しています。視察した委員からは「大変参考になった。芳賀町の健康づくりの拠点施設を見直す際の参考にしたい」との声が聞かれました。



▲教育民生常任委員会と那須町議会の皆さん



▲視察の様子（御蔵入交流館）



今回は、芳賀町ジュニアリーダーズクラブでボランティア活動をしている町内の高校生に寄稿いただきました。芳賀町ジュニアリーダーズクラブは、自分の住んでいる地域を活動の場としてレクリエーションや社会奉仕活動を行うボランティア団体です。

「さとり世代」を生きる



芳賀町ジュニアリーダーズクラブ
 会長
 かなこ
水沼華那子さん
 (下高根沢)

とある新聞によると「さとり世代」という今の若者を象徴する言葉が広まっているらしい。「ゆとり教育を受けつつ、さらに勉強をし、現実的な将来を見通す賢い集団でもある」と記載されていた。

現代の若者たちは「これだからゆとり世代は・・・」と、あまり良くない評価をされがちである。しかし皆がそのような評価をされる態度をとっているとは限らない。少子高齢化が進み、若者の地方離れが危惧されている今、地域をより活性化させるため、祭りの囃子など行事に積極的に参加したり、中学生は科学技術の素晴らしさを生かし、ロボットコンテストに参加したりなど、将来のため日々努力を積み重ねている。それらの業績を差し置いて、ひとくくりに「ゆとり世代」とまとめてしまうのは、実にもったいないと思う。

私は、今の不景気で就職が困難な社会で、同じ世代を生きる若者たちがさまざまな活躍をしてくれるだろうと考える。

小さい子どもたちの笑顔のために



芳賀町ジュニアリーダーズクラブ
 副会長
 りゅうが
山田 竜雅さん
 (祖母井)

私は、芳賀町ジュニアリーダーズクラブで副会長をしています。小学生と接することが多く、高校生である私たちは少しでも楽しく遊んでもらうために試行錯誤を繰り返しています。しかし、年々小学生の数が減少傾向にあるとニュースで見ました。そして高齢者の数が増加していることで、今の日本は超高齢社会と言われています。

少子高齢化をなくすためには、子どもが住みやすい環境をつくることだと思います。例えば、道路の整備・地球全体の緑化、そして地域のごみ拾いなどの美化活動を中心にしていけば、笑顔あふれる美しい日本になると思います。

私は、地域のごみ拾いなどの自分でできることを大切にしていきたいと思っています。まず芳賀町から始めていけるように、より一層の取り組みをお願いしたいと思っています。

私達が大人になっても住みたいと思う町づくり



芳賀町ジュニアリーダーズクラブ
岸 菜々子さん
 (祖母井)

私はこの春、芳賀中学校を卒業し高校に入学しました。芳賀町に生活した今までの15年間、町民の方々のご協力で、安全かつ恵まれた生活を送ることができたことを心から感謝しています。

現在は、芳賀町ジュニアリーダーズクラブに所属し、支えていただいた芳賀町の皆様方に少しでも協力できるよう、ボランティアを通して町の行事に参加させていただいています。

ボランティアに携わった半年間、芳賀町の方々との接し、明るく常に前向きであると感じました。町の行事はさまざま、他の市町村と比べても、数多くの催し物が企画・運営されています。参加するごとに芳賀町の豊かさと住みやすさを感じています。

近い将来、私も進路を選択し、芳賀町を離れることになってしまうかもしれません。しかし、故郷を思い、振り返り、戻りたいと思えるような芳賀町であってほしい、これからも進化し続けられる町づくりを町政や町民の方をお願いしたいと思います。

議会日誌

8月

- 1日・ロマン花火大会2015
- 2日・第67回郡市民体育祭
- 7日・県議長会トップセミナー
- 10日・国道123号改修促進同盟会総会
 - ・町第6次振興計画審議会
 - ・町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会
- 20日・関東議長会視察研修（～21日）
 - ・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 21日・例月出納検査
- 26日・議会運営委員会
- 27日・水道運営協議会
 - ・町村議長会決算監査

9月

- 1日・郡市議長会定例会
 - ・広域行政事務組合議会
- 2日・第5回定例会（～16日）
 - ・議会改革検討委員会
- 18日・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 21日・ロマンの湯開館20周年記念式典
 - ・梨・新米まつり
- 24日・例月出納検査
 - ・第2回町振興計画審議会
 - ・町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会
- 25日・芳賀中部環境衛生事務組合定例会
- 28日・関東議長会会長会議研修（～29日）
- 29日・教育民生常任委員会行政視察（～30日）
 - 那須町、福島県南会津町

10月

- 4日・那珂川町合併10周年式典
- 6日・暴力団追放総決起大会
- 7日・戦没者追悼式
 - ・全国監査委員研修会（～8日）
 - ・教育民生常任委員会
- 8日・東日本議長会研修（～9日）
- 14日・全国議長会会長会議
- 15日・国保運営協議会
- 16日・県議長会正副会長会議
- 20日・例月出納検査
 - ・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
- 21日・郡市議長会行政視察（～23日）
 - ・群馬県中之条町議会行政視察来町
- 26日・総務常任委員会行政視察（～27日）
 - 埼玉県三芳町
- 28日・县市町村振興協会理事会
- 29日・産業建設常任委員会行政視察（～30日）
 - 福井県越前市

表紙の写真

議会だよりはがの表紙の写真は、156号から芳賀町写真クラブの皆さんに撮影をお願いしています。

四季折々の芳賀町の行事や町民の皆さんの表情がいきいきと表現されています。



▲芳賀町夏祭祇園祭
古谷倅一氏（祖母井）撮影



▲芳賀中学校体育祭
岡野義美氏（上延生）撮影

〈次回の定例会は12月1日からの予定です〉

みんなで議会を傍聴しましょう

議会は、はがチャンネルでも放送します。

— 放映時間 —

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から

編集室

び議員一丸となり住みよい町づくりを目指したいと考えております。

（議会広報常任委員会

委員 岡田 年弘

■議会広報常任委員会

委員長 大根田 周平
副委員長 大根田 年弘
委員 岡田 年弘
委員 増渕 さつき
委員 杉田 貞一郎